

会 議 録

会議名 (審議会等名)	令和4年度第1回小金井市廃棄物減量等推進審議会		
事務局 (担当課)	小金井市ごみ対策課		
開催日時	令和4年7月13日(水)		
開催場所	小金井市 中間処理場		
出席者	委員	<出席者：11名> 渡辺会長・溝入委員・岡山委員・大関委員・岸野委員・林委員・黒須委員・齋藤委員・清家委員・石原委員・續木委員 <欠席者：3名> 土屋委員・橋本委員・堀越委員	
	事務局	今井ごみ対策課長・鈴木ごみ処理施設担当課長・府川減量推進係長・高田清掃係長・八方主査・高橋施設係長・高花	
傍聴者の可否	可	傍聴者数	0
会議次第	1 開 会 2 報 告 3 その他 3市ごみ減量推進市民会議への委員の選任及び派遣について		
会議結果	別紙審議経過のとおり		
提出資料	別添のとおり		
その他			

(審議過程) 主な発言等

今井ごみ対策課長	<p>これより令和4年度第1回小金井市廃棄物減量等推進審議会を開催する。</p> <p>今回、委員改選により新たな任期の初回となるため、会長が選出されるまでの間、ごみ対策課長の今井が進行役を務めさせていただきます。</p> <p>本審議会の開催にあたっては、会長選出前のため市長名にて通知したが了承いただきたい。</p> <p>また、本来であれば、市長より直接委嘱状をお渡しさせていただくところだが、新型コロナウイルス感染症感染予防の観点から、机上での配布をもって交付に代えさせていただきますので、ご了承ください。</p> <p>それでは、本日の進行及び配布資料についての確認をさせていただきます。</p>
府川減量推進係長	<p>(配布資料確認)</p>
今井ごみ対策課長	<p>委員改選後、初めての審議会となるので、委員の皆様にご自己紹介をお願いしたい。</p> <p>(委員自己紹介・事務局紹介)</p> <p>それでは、審議会会長を選出したい。まず、事務局から規程を説明させていただきます。</p> <p>(小金井市廃棄物減量等推進審議会規則 第3条第1項と第2項を説明)</p> <p>ただいまから小金井市廃棄物減量等推進審議会会長の互選を行う。挙手にて指名推薦をお願いしたい。</p>
林委員	<p>渡辺委員を推薦する。</p>
今井ごみ対策課長	<p>他にいないようであれば、渡辺委員を会長に選出することによいか。</p> <p>(承認)</p>

(審議過程) 主な発言等

渡辺会長	それでは、ただいま選出された渡辺委員にご挨拶いただく。 (新会長から挨拶) これより渡辺会長に進行をお願いする。
岸野委員	それでは、引き続き副会長の互選を行う。互選の方法については、同じく挙手にて指名推薦で行いたい。 岡山委員を推薦する。
渡辺会長	他にいないようであれば、岡山委員を副会長に選出すること でよいか。 (承認) それでは、岡山副会長からご挨拶をいただく。 (新副会長から挨拶)
府川減量推進係長	それでは、審議会の進行について事務局より説明をお願いす る。 (小金井市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例第7 条・規則・情報公開条例第5条第1項・小金井市市民参加条例 及び会議録等について説明)
渡辺会長	事務局からの説明どおり、会議録については、今年度も発言 者がわかる形での公開の取り扱いとする。議事を録音して、そ れを起こして記録するという形になるので、発言の前に自分の 氏名を言っていたきたい。 それでは、事務局より報告をお願いする。
鈴木ごみ処理施設担当 課長	(「清掃関連施設整備事業について」報告)

(審議過程) 主な発言等

渡辺会長	事務局からの説明に対して、意見・質問はあるか。
林委員	今回の市報で、野川クリーンセンターの外観を見たが、これだけフラットな屋根が大きくありながら、太陽光発電がついていないのはなぜなのか気になった。
渡辺会長	ごみの減量も、基本的には環境負荷を減らすということであり、そういった意味ではごみ関連施設に太陽光発電がついているところは結構ある。今後、そういったことは検討される余地はあるのか。
高橋施設係長	大型太陽光パネルの導入については、施設整備の段階ではつけるという判断には至らなかった、というところでご理解いただきたい。
渡辺会長	発電することによる二酸化炭素の軽減のほうが、処理のときの環境負荷に比べてずっとプラスということは言えると思うので、機会があれば検討していただきたい。 それでは、次の報告をお願いします。
今井ごみ対策課長	(「令和4年度施行実施事業の検討状況について」説明)
渡辺会長	事務局からの説明に対して、意見・質問はあるか。
林委員	家具がメインになるということだが、そうなるとソファや椅子のように、普通の乗用車に載せられないようなものも結構出たり、軽トラが必要になるというようなことも起こり得るのではないか。
今井ごみ対策課長	他の自治体などでは、市内の運送業者を手配して工夫されているところもあるようだが、今回は予算措置等が整っていないところであり、ニーズも含めてご意見をいただくための試行実施でもあることから、状況を見ながら対応していきたいと考えている。

(審議過程) 主な発言等

林委員	市と個人が取引をするということで、基本は無償なのか。
今井ごみ対策課長	まずは事業を知っていただくというところもあり、無償譲渡で裾野を広げていきたいと考えている。今後、例えばリユース品の回転がよく品不足になるようなことがあれば、有償での引き渡しなども考えていきたい。
林委員	逆に、滞留して置き場がなくなるということもありえる。
今井ごみ対策課長	その場合は、小金井市民限定ではなく市外の方にも提供できるようにする、といったように、運用を見ながら検討していきたいと考えている。
岸野委員	品物というのは、市のホームページかジモティーのサイトに載るといふことか。
今井ごみ対策課長	ジモティーのサイトのほうに市が出品者として品物を掲載するので、市民の方にはジモティーにアクセスしていただき、欲しい物があれば、そこに申し込みをしていただくという仕組みを考えている。
林委員	給水機の設置について、他市で既に導入しているところはあるか。
今井ごみ対策課長	近隣では、多摩市・町田市・日野市で、現在我々が考えている設備と同様のものが設置されている。まずはその設備を知っていただく、利用していただく、ということに重点を置いて、紙コップを置いているというような事例はある。
渡辺会長	初期の導入時に、より知ってもらうために、一定期間紙コップを置いたということは聞いている。
林委員	これは市の施設に限定なのか。
今井ごみ対策課長	まずは市の施設に置くことで姿勢を示し、その後、事業者にも賛同いただければと考えている。

(審議過程) 主な発言等

岸野委員	最初に設置するところは、まだ決まっていないのか。
今井ごみ対策課長	まだ決定しているわけではないが、市民の方が一番いらっしゃる場所である市役所第二庁舎を優先的に設置したいと考えている。
林委員	この給水機はどういったものなのか。
今井ごみ対策課長	飲み口型だと噴水で上がってくるが、今回設置するものは、給水口の下にボトルを置いてボタンを押すと、給水口からボトルに直接水が注がれるというものである。
齋藤委員	水道栓直結とあるが、水はどういったものなのか。
今井ごみ対策課長	給水設備の中にフィルターが入っているので、そこを通した水道水である。
齋藤委員	以前のリサイクル事業についてだが、持ち込むときは自分で持ち込んで、買うときは自分で持ちかえるような仕組みだったということによいか。
今井ごみ対策課長	持ち込む場合も持ち帰る場合も、自身で運んでいただいていた。
渡辺会長	受け取り希望者は、今のところ小金井市民のみとしているが、ジモティーのサイトからは市民ではなくても見ることはできる。野川クリーンセンターは市境にあるから、近くに住んでいる市外者がそれを見て不満に思うこともあるのではないかとと思うので、ゆくゆくはもう少し地域を広げても良いのではないかとと思う。 それから、「受取申込に係る制限」として「1回の出品更新ごと」というのはどういうことか。
今井ごみ対策課長	市が出品登録をさせていただく頻度は、今のところ1週または2週に1回を想定している。粗大ごみの中からリユース可能なものを出品するので、出品点数は、その時々によると思うが、

(審議過程) 主な発言等

渡辺会長	1回の出品登録で5点から10点くらい出せればと考えている。ユーザーは、その中から1品のみ希望することができる、ということである。
渡辺会長	1回に出品したものが全てなくなるまでは、次の出品登録はしない、ということか。
今井ごみ対策課長	保管スペースとの兼ね合いもあるので、そういったことは運用しながら検討していきたい。
渡辺会長	全てが無くなるまで待っていると、次の出品登録ができない。やはり定期的に出品したほうが、ユーザーとしてもわかりやすいと思うので、そのように提案したい。
岡山委員	テレビで世田谷区がジモティーと実施している様子を見たが、区民が持ち込んだものを、その場にいた人が気に入って、そのまま持ち帰っていた。それをみて、とても循環が良いと感じた。スペースがあまりないのであれば、考えなければいけないのかもしれないが、もっとスムーズに別の市民に渡されるとよいと思う。
今井ごみ対策課長	世田谷区では、広いスペースが確保されていて、そこにジモティーの社員が派遣されている。予約制になっており、区民が粗大ごみを持ち込むと、ジモティーの社員側が査定して、リユースの可否と値段を精査したうえで、出品作業をしている。 小金井市でも可能かどうかジモティーと協議したが、スペースがないということと、ストックを溜めておく場所も確保できていないため難しかった。そういったこともあり、まずはオンラインを活用した回転率の高いルートを構築することを目指している。
八方清掃係主査	(「くつ・かばん類拠点回収及び食品リサイクル堆肥の配布場所変更について」報告)
渡辺会長	かなり時間枠が限定されているので、なかなかその時間帯に行けないという市民もいるのではないか。

(審議過程) 主な発言等

今井ごみ対策課長	<p>今回、夏休み生ごみ投入リサイクル事業を実施している学校の一部で、かばん類の拠点回収についてご協力いただけるので、そういったところについて周知していきたい。</p> <p>清掃関連施設の整備事業の進捗に応じて場所の変更が生じているので、今後、中間処理場が資源物処理施設に建て替わるというところで、また拠点等を変更となる。安定的な処理体制、サービス展開、といった仕組みを意識しながら、市として取り組んでいくので、暫時の措置についてはご協力いただきたいと考えている。</p>
林委員	<p>くつ・かばん類の拠点回収については、以前から、もう少し時間帯や回数を増やせないかという話しは出ていたと思う。</p> <p>ずっと限られた中でしか実施されてこなかったわけだが、これは廃棄物の減量効果に繋がっているのか。</p>
高田清掃係長	<p>くつ・かばん類の回収量としては、年間2.5トンくらいの回収量がある。本来は不燃ごみに入ってくるところが、取り除かれていると考えると、一定の減量効果はあるのではないかと思う。</p>
林委員	<p>これを拡大した場合はどうなのか。例えば、倍やったら、もっと出てくるものなのか。</p>
高田清掃係長	<p>あまり拡大し過ぎてしまうと、拠点回収に持っていけば無料で捨てられる、となってしまう、不要なものも安易に受け取ってしまうことが考えられる。</p>
今井ごみ対策課長	<p>小金井市は、ベッドタウンに近いところがあり、昼間人口が少ないのだが、これまで市が展開してきた施策は昼間人口を狙ったものが多い。</p> <p>今回のリユース事業や給水機のように、民間事業者に協力してもらい、いつでもどこでもご利用いただける発生抑制の施策というものを軸に考えていく必要があると思っており、そういったアイデアも取り入れながら整理していきたい。</p>

(審議過程) 主な発言等

渡辺会長	他になにかあるか。なければ次に移りたい。
今井ごみ対策課長	(「3市ごみ減量市民会議への委員の選任及び選出について」 説明)
渡辺会長	事務局の選出依頼について了承してよいか。 (承認) それでは、4名のうち2名については、市民公募以外の方から指名推薦させていただく。 集団回収団体代表の齋藤委員とごみゼロ化推進員代表の續木委員を推薦したいがいかがか。 (承認) 続いて、市民公募委員の中から林委員を指名推薦したいがいかがか。 (承認) 最後の1名については、事務局にお願いしたい。
今井ごみ対策課長	小金井市では、男女共同参画基本計画を策定し、女性躍進の促進に取り組んできた経過があり、本審議会においても女性の登用促進を図りたいと考えていることから、橋本委員の選出提案をさせていただきたい。なお、橋本委員は本日欠席だが、ご内諾はいただいている。
渡辺会長	それでは、事務局からの推薦で橋本委員を推薦するという ことでいかがか。 (承認) では、齋藤委員・續木委員・林委員・橋本委員を「3市ごみ 減量推進市民会議」の市民委員として派遣することを了承す

(審議過程) 主な発言等

岸野委員	<p>る。各委員から一言願いたい。</p> <p>(各委員より挨拶)</p> <p>他に何かあるか。ないようであれば、岸野委員から発言があるようなので、願います。</p> <p>ごみゼロ化推進会議のまち美化部会の部会長をしているがごみゼロ化推進員の募集も兼ねて、美化清掃の時に興味を持ってくれた人に地区活動日程表を配布しようと思っている。ごみもかなり出るので、委員の皆さんにもぜひ参加していただきたい。</p> <p>それから、夏休み生ごみ投入事業実施の際に周知したいので、廃棄物会計を8月月初めに作成できないか。</p>
今井ごみ対策課長	<p>市の会計年度というものがあり、6月以降に資料を集めて作成していくため、夏休み時期までにということが現状では非常に難しい。ご意見として承らせていただく。</p>
林委員	<p>会長・副会長に誤解のないようにお伝えすると、夏休み生ごみ投入リサイクル事業のチラシの中で、「食用廃油」と書いてあるのは、市の事業として実施しているのではなく、市民が自主的に行っている土曜生ごみの回収活動の中の一環で行われている。</p>
渡辺会長	<p>食用廃油については、かなり実現性の高いものだと思っている。何とかできれば、あるいは市から支援が受けられるという形にできればいいと思う。</p>
石原委員	<p>実際に回収して、再生して、ということも含めて、事業として日本全国で成り立っているのか。</p>
岡山委員	<p>いろいろなりサイクル方法があるが、現在はバイオディーゼル燃料である。世界の情勢を考えると、廃食油を有効利用することは非常に価値が高いと思う。ちなみに、廃食油をリサイクルしているのは、ほとんど産廃業者である。</p>

(審議過程) 主な発言等

林委員	<p>市民から集める廃食油は、給食のものとは少し質が違うという話しもある。</p> <p>いまは、給食廃食油を回収している業者に一緒に回収してもらっているが、入れ物を分けていて、混ぜて持っていくことはしていない。やはり、一般家庭から出るものは、劣化具合も違うし、精度が違う。他市でも解決できない問題を抱えているようなところもあるようだ。</p>
石原委員	<p>廃食油といっても、本当の食用油と、化学的に合成している油とでは、全く違うはずである。</p>
林委員	<p>いずれにしても、ごみゼロ化推進会議の啓発部会で、一つの課題としているので、そちらで市と話し合いを持って、少しでも何か打開策がないかを考えている。</p>
岡山委員	<p>まず、揚げ物を家の中でするかという調査をすると、人口的に弁当を作っている若い世代が多いということがある。子どもがどんどん減っている中で、廃食油自体が出なくなっているということもある。それから、揚げ物は部屋が汚れるからしないということもある。それらのことがあって、ごみとして減り続けている以上、社会情勢的には無理をして集めようということは、なかなか難しい。</p> <p>ごみはそもそも出さないほうが良いので、私自身も揚げ物をした時は、次に、次にと使いながら使い果たして、それからまた油を使うようにしている。そうすると、基本的に廃食油を出さなくなる。そういったライフスタイルが推奨されているということもあり、全体としてリサイクルをどんどんすればよいというものでも無くなっているのではないかという感触はある。</p>
渡辺会長	<p>発生抑制というところから考えると、そうやって使い切ることも、より重要ということなのかと思う。</p> <p>他に何かあるか。</p> <p>それでは、以上をもって審議会を終了する。</p>